

日本臨床細胞学会京都府支部
第28回京都府支部学術集会時定例幹事会議事録

平成23年7月17日 午前10時～午前11時
場所：京都大学百周年時計台記念館 第三会議室

議事内容：

1) 学術委員会報告（伊東委員長・川辺副委員長）

第28回日本臨床細胞学会京都府支部学術集会開催概要

期日：平成22年7月17日（日）

会場：京都大学百周年時計台記念国際ホール

要望講演（ランチョンセミナー）

「子宮頸部細胞診におけるLBC」

尾崎 聡 先生（金沢大学附属病院病理部）

共催：協日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

特別講演：

「肺腺癌の新展開 — 分子標的薬と細胞診」

谷田部 恭 先生（愛知県がんセンター）

一般演題：8題

○本日の運営について

- ・ 申請した時間が10分不足しており、CTクレジット5単位になりました（昨年10単位）
- ・ 懇親会に余裕あります

2) 精度管理委員会報告（岸本委員長・加藤副委員長）

○ 第24回生活習慣病予防健診細胞診研修会報告

期日：平成23年2月13日（日）13時00分～17時10分

会場：キャンパスプラザ京都 4F 第3講義室

参加者：67名（専門医：12名、検査士：53名、その他：2名）

内容：

- ・ 講演Ⅰ：子宮頸部細胞診：LBC法導入後の現状について

『京大病院におけるThinPrep5000によるLBC法の導入効果』 白波瀬 浩幸
先生（京都大学医学部附属病院 病理診断部）

『検査センターにおける直接塗抹の現状と液状検体導入時の検討』 加藤 順子

先生（株式会社 日本セルネット）

講演Ⅱ：『組織所見が語る乳腺超音波画像の特徴』

岸本 光夫 先生（京都府立医科大学 人体病理学）

講演Ⅲ：『乳腺 自己採点式スライドカンファレンス -超音波とマンモグラフィ-と細胞診画像、それぞれ組織型を推定してみよう！-』

大江 信哉 先生(おおえ乳腺クリニック)

3) 教育委員会報告（南口委員長・真下副委員長）

○第13回教育研修会

期日：平成23年12月18日（日）

会場：ホテル京阪（70名～105名の会場）12時～18時予約済み

内容：桂先生や真下さん、そのほか教育委員会のメンバーと詰めていきます

4) 検査士部会（三宅検査士会長）

○第5回 京都細胞診ワークショップ

日時：平成23年6月25日（土） 13:00～17:00

場所：京都保健衛生専門学校

内容：講義およびワークショップ

「甲状腺の細胞診」

樋口観世子 先生（医療法人神甲会 隈病院 臨床検査科）

参加者：36人（細胞検査士：33人、臨床検査技師：2人、学生：1人）

○子宮の日の活動

日時：平成23年4月9日（土）

場所：イオンモール京都5階（T-ジョイ京都）

参加者：28人（細胞検査士21名、その他7名）

内容：子宮頸がんに関する講演（三宅検査士、加藤検査士）、子宮頸がんに関するアンケート調査報告（同志社大学学生）、パネルディスカッション（松本 隆博氏；ダウタウン松本さんの実兄、江口検査士、加藤検査士、学生）、啓発パンフレット等の配布

協賛：ヤサカ自動車株式会社（LOVE49のシール貼付の女性乗務員のタクシーの京都市内走行）

○第5回京都・奈良 古都を結ぶ勉強会（奈良県担当）

日時：平成24年3月3日（土）13:30～17:30

5) その他

○第8回滋賀乳腺病理研究会（京都府支部共催）

日時：平成23年5月18日（水） 19:00～

場所：ロイヤルオークホテルスパ&ガーデン1階 ライラック

講演1：“Challenges and opportunities for the cytopathologist working in a one stop clinic for breast lesions”

Dr. Philippe Veilh, (Département de Pathologie, Cytopathology, Institut Gustave Roussy)

講演2：“Intracytoplasmic lipid accumulation in apocrine carcinoma of the breast evaluated with adipophilin immunohistochemistry: A possible link between apocrine carcinoma and lipid-rich carcinoma”

森谷鈴子 先生（国立病院機構名古屋医療センター研究検査科）

○日本臨床細胞学会秋期大会50回記念学会貢献賞受賞者推薦

土橋康成前支部長、稲本和男前検査士部会長の2名を推薦した

○その他

- ・ 京都府医師会子宮がん検診精度管理体制の見直しに関する会合報告（別添資料あり）
- ・ 日本テレパソロジー・バーチャルマイクロスコープ研究会設立10周年記念総会（平成23年9月9日（金）、10日（土）京都リサーチパーク）の後援について（別添資料あり） → 承認
- ・ 今後の研修会会場について
 - ✓ キャンパスプラザの予約が3か月前からとなり、開催計画が立てにくくなった
 - ✓ 年間の会場費は25万円程度、百周年記念と京阪ホテルで20万円
 - ✓ 立地が悪いと参加者数が少ない
 - ✓ 会場のみならず、予算の関係で講師招聘で制約される場合もある
 - ✓ 受益者負担を検討する（他府県は有料が多い）
 - ✓ 具体的に詰めて、メリット・デメリットを整理して次回の総会に諮るべく、検討を進める
- ・ 代議員会報告
 - ✓ 東北大震災への義捐金について、専門医会90万円、検査士会90万円の計180万円を会費から拠出している（学会から360万円）・・・

診断学協会からの拠出では税がかかるので

- ・学生/臨床検査技師の積極的参加について
 - ✓ 広報不足の側面もあるので、積極的な広報を
 - ✓ ホームページ作成する → 長けた幹事の先生方の協力を
 - ✓ ホームページについては、必要経費等を試算して、次回の幹事会で提案したい